



「鳥を見る喜

びや、自然の素

晴らしさを、一

般の人にも知っ

てもらえたら」と話すのは、

今年一月、支部会員約千九

百人を抱える日本野鳥の会

愛知県支部長に就任した瓜

谷章さん(三四)。同支部の役



鳥の視点で代弁したい

員中、最年少だ。

愛知県ではビッグプロジ

ェクトが目白押し。愛知万

博、新空港、藤前干潟のゴ

ミ埋め立て……。名古屋大

学で助手を務める工学博士

でもあるが、「感傷的に保

護を訴えるのではなく、鳥

をよく知ることで、鳥の視

点に立って代弁していきたく

いと気負わず静かに語る。

学生時代、実験で疲れた心

身をいやしてくれた鳥への

恩返しは、これからだ。